

## 平成 24 年度富士山豆博士認定証授与式が行われました!!

2月18日、市役所市民ホールで、平成24年度富士山豆博士認定証授与式が行われました。

各学校の富士山豆博士の代表者が、市長から認定証を受け取り、豆博士になるまでの活動の様子などの感想を話しました。

市長は「今年は、富士山が日本の宝から世界の宝になるようにしています。さらに多くの方が富士山と、そして麓のまちにも訪れるようになるでしょう。皆さんが1人の博士として、訪れた人たちに富士山のことを教えてあげてください」と、小さな博士たちにエールを送りました。

代表の児童・生徒たちも、緊張の面持ちながら「富士山の学習をして、これからは生き物や植物などの自然を今までよりもっと大切にしようと思いました」など、様々な感想を発表していました。



▲認定証を受け取った生徒たち



◀代表の児童による活動の感想発表



▶市民ホールに飾られた児童・生徒たちの作品

# 今年も富士山豆博士が誕生しました!!

平成18年度から、富士山の豊かな自然と恵みを後世に継承するために「富士山基金」の一部を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。

今年度は、御殿場小学校・御殿場南小学校・朝日小学校・高根中学校で実施しましたので、取り組みを紹介します。

環境課 ☎ (83) 1603

Q 富士山豆博士ってなに?

A 富士山のことをたくさん学んだ、市内の小・中学校の児童、生徒たちのことです。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことによって、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識しています。富士山と、富士山麓の豊かな自然に触れ、親しむことで、新しい発見をして、毎年たくさんのごてんばの富士山豆博士が誕生しています!

Q 富士山豆博士って、今何人いるの?

A 平成24年度は382人の富士山豆博士が誕生し、これまでに4,733人が富士山豆博士になりました!

Q 次のどの学校から富士山豆博士が誕生するのかな?

A 次年度は、東小学校、原里小学校、玉穂小学校、高根中学校で実施予定です。

## 高根中学校

◎1年生35人が取り組みました。

### 【「怒る富士」の演劇】

高根中の伝統である演劇「怒る富士」を1・2年生で取り組み、文化祭や地域行事の「高根どんたく」で上演しました。新田次郎作「怒る富士」をもとに、演劇の台本を用意し、学年ごとに配役を決め、4幕構成の劇にしました。



◀文化祭での発表

上演前には、富士山噴火について調べた内容の発表を行いました。劇を通して、噴火したときの状況や人々の苦しみ、伊奈半左衛門などの昔の人のおかげで復興が進んだことなど、富士山噴火についてより深く知ることができました。

### 【私にとっての富士山】

「冬の富士」をテーマにして、自宅周辺や、東富士演習場付近、金時山近辺などの、富士山周辺の様々な場所から見た富士山の写真を撮影しました。

また、富士山をイメージした俳句を詠むことで、富士山への想いを高めました。



▶高根どんたくなどで演劇「怒る富士」を披露

## 朝日小学校

◎6年生75人が取り組みました。

富士登山、校外学習を中心に「富士山豆博士」になるために学習しました。

### 【富士登山】

YMCA東山荘白鳥裕之氏、東富士山荘米山千晴氏の協力のもと、富士山の動植物や富士登山の心得などを学習し、富士登山を実施しました。

登山中、野鳥の鳴き声を聞き分けたり、植物に触れたりするなど、事前の学習で学んだことを生かし、実際に体験しながら進みました。

### 【富士山校外学習】

「鳴沢の氷穴及び樹海の散策」、「富士ビジターセンター及び富士山レーダードーム館の見学」を通じ、富士山の成り立ちや伝説を学び、自然に触れ合う貴重な体験をすることができました。

### 【富士山豆博士になろう】

総合的な学習として、富士登山や校外学習で学んだことを中心に、各自がテーマを決め、インターネット、図書館の本などを利用してまとめました。調べた内容をテーマ別のグループに分かれ発表会を実施しました。



▶鳴沢の氷穴を見学

## 御殿場南小学校

◎5年生141人が取り組みました。

身近な存在である富士山や、富士山麓の自然環境の大切さ・素晴らしさを体験し、「富士山豆博士」になるため、2つの取り組みを中心に学習しました。

### 【野外教室】

日本野鳥の会の菅常雄氏を講師として招き、富士山御殿場口五合目で富士山の成り立ちや植生について学習しながら、野鳥の観察を行いました。



◀野外教室の様子

### 【調べ学習】

◆総合的な学習の時間を利用し、各自富士山に関する課題を持ち、学校の図書室や御殿場市立図書館の書籍、インターネット、雑誌等を利用し、興味を持った内容を中心に調べ学習を行い、新聞にまとめました。

◆個人学習終了後、調べたい内容ごとにグループに分かれ、個人学習を生かした調べ学習に取り組み、2月の児童集会で学校全体に調べた内容を発表し、学習のまとめを行いました。



▶調べ学習の成果を発表

## 御殿場小学校

◎6年生131人が取り組みました。

個人学習、富士登山、講話などを通して「富士山豆博士」になるための事業を推進しました。

### 【個人課題追究】

◆富士山についてもっと知ろうと自ら課題を設定し、本やインターネット等を利用して調べ学習を行いました。富士山に対する興味を深め、学んだことを新聞・パンフレット等にまとめました。

◆富士山少年俳句大会への出品や、富士山世界文化遺産推進歌のための「富士山への想いの言葉」への応募、富士山短歌作りを通じ、富士山への想いを深めました。

### 【富士登山・小富士散策・講話】

東富士山荘米山千晴氏の講話などをもとに、須走口五合目から本六合目までの富士登山や、小富士散策を実施しました。季節による富士山の自然の変化を肌で感じるとともに、富士山の偉大さや自然を大切にしたい思いを伝えました。

### 【パネルディスカッション】

米山氏を講師に招き、富士山を守るための提案を行いました。その後、家族や地域に活動を広げています。



▶小富士散策で説明を聞く児童たち